

## 「LOGIBASE厚木愛川町」竣工

三井物産都市開発株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：土原伸）は、神奈川県愛甲郡愛川町にて野村不動産株式会社と共同開発を進めていた物流施設「LOGIBASE厚木愛川町」が2023年1月31日に竣工致しました。

本物件は圏央道「相模原愛川IC」から約3.5kmと利便性の高い立地にあり、首都圏向けの地域配送に加え、中部・関西エリア向けの広域配送拠点として活用が可能です。1階は両面バースを備え、2階以上の倉庫フロアには作業用空調を実装することに加え、危険物倉庫を併設することで、多様なニーズに対応可能な倉庫機能並びに快適な労働環境を提供します。

本物件は現在入居者募集中ですので、ご興味ありましたら以下担当までご連絡頂きますようお願い申し上げます。弊社は今後も三井物産グループの国内不動産開発事業を一手に担う会社として、企業活動のニーズに応える物流適地を見定め、物流施設開発事業を進めて参ります。

### <LOGIBASE厚木愛川町 建物外観>



#### 【建物概要】

所在地：神奈川県愛甲郡愛川町中津字桜台4031-1

アクセス：圏央道「相模原愛川」ICから約3.5 km

最寄駅：JR相模原線「原当麻」駅から約4.5km

用途：物流倉庫（倉庫業を営む倉庫）

用途地域：工業専用地域

延床面積：4,450坪（予定）

規模・構造：S造・4階建

着工：2022年1月5日

竣工：2023年1月31日

敷地面積 : 20,052.48㎡ ( 6,065.88坪)  
延床面積 : 36,667.92㎡ ( 11,092.05坪)  
規模・構造 : RCS造 (柱鉄筋コンクリート造 梁鉄骨造)、地上5階建 (倉庫部分4階建)  
設計施工 : 株式会社鴻池組

### 【アクセス】

LOGIBASE厚木愛川町は、圏央道「相模原愛川」ICより約3.5km、神奈川県央を縦断する国道129号から約1.5km、首都圏環状道路の国道16号から約10kmと、アクセス良好な神奈川県内陸工業団地内に位置しております。

首都圏一都三県への輸送だけでなく、圏央道を利用しての北関東方面や、東名道・中央道を使用しての中部地区・関西地区との往来にも高い利便性を有します。

### 【建物の特徴】

本物件は、両面バースを備え効率的な荷捌きを行えることに加え、2階以上の倉庫部分は作業用空調を実装し、労働環境にも配慮した仕様としております。また、タブレット制御式人感センサー付きLED照明を採用し、環境配慮、ランニングコスト低減、業務効率化等、様々な効果が期待できる最新型照明設備を実装しております。更に、危険物品の適正保管ニーズが上昇している中、危険物倉庫 (2023年8月末竣工予定) を併設することにより、一般品と危険物品の同一敷地保管が可能な施設を提供致します。

### 【主な仕様・設備】

床荷重 : 1.5t/㎡ (倉庫エリア)  
天井高 : 梁下有効5.5m確保  
照明 : 人感センサー付LED照明 (タブレット制御機能付)  
搬送機 : 垂直搬送機 4基、荷物用EV 4基  
駐車場 : 乗用車駐車場 78台  
バース台数 : 31台 (両面バース)

### 【広域図】



### 【狭域図】

